

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

ソフトウェア情報学部は、情報工学の専門的知識・技能に加えて、自らの未来を切り拓く実践力を備えた人間の養成を目指して教育を行っている。そのため、本学部で学ぶ意欲があり、高等学校までの学習や経験を通じて基礎的知識を持ち、身近な問題に自ら取り組み、その成果を表現できる力を身に付けていることを重視する。入学者の受入れは、下記の方針に基づいて適正に行う。入学者の選考は、様々な個性、能力等を有する自分を受け入れることができるよう、多様な選抜方法を用意して行う。

【ソフトウェア情報学部が求める学生像】 次の①～⑥のような学生を求めています

- ①高等学校の教育課程を幅広く修得している。
- ②身近な問題について、知識や情報を基にして、筋道を立てて考え、その結果を説明することができる。
- ③ソフトウェア情報学部で主体的に学ぶ意志がある。
- ④学んだ知識や経験を社会で活かしたいという意欲がある。
- ⑤地域における社会的活動、文化、スポーツ活動等に取り組む意欲がある。
- ⑥ソフトウェア情報学部から求められている入学前教育に計画的に取り組むことができる。